

# 天理教 江南支部だより

発行先 江南支部  
発行日 立教187年7月1日  
発行責任者 福西 努  
発行住所 甲賀町上野461番地9  
7月号 N0288

## 第2回 ようぼく一斉活動日開催 6月1日

江南支部は、6月1日甲龍分教会を会場に第2回目のようぼく一斉活動日を開催した。前日より係員一手一つに準備を進め、大勢の参加者を得て無事つとめることができた。支部長による開口あいさつに続いて、本部よりのメッセージ動画を視聴、続いて本部員増野正俊先生をお迎えして、「おつとめ」についてお話しいただいた。布教部長による閉講あいさつの後、アンケートを記入して解散した。おつとめの大切さ素晴らしさを改めて教えて頂いた一斉活動日となった。



**第3回目は、11月4日開催予定！**

## 教祖なら、どうなさるだろうか

以前テレビで見た、母と子のエピソードを紹介します。

ある年の七夕たなばたの日、障害のある子供たちが海でキャンプをしていました。そのキャンプに、十七歳の女の子Aさんが母親と一緒に参加しました。

Aさんは生まれつき両手足が不自由で、車いす生活を余儀なくされています。母親の介護なしでは何もできず、おむつもいまだに外せません。

スタッフの一人が、Aさんに「きょうは七夕だから、何か願い事があれば言つてごらん。短冊に書いてあげるよ」と声をかけました。Aさんは「別に何もありません」と一度は断りますが、ほかの子供たちが願い事を書いたり、笹に飾り付けしたりしているのを見て、「どんなことでもいいのなら……」と、思いきってスタッフに伝えます。

「『神様、どうぞお母さんより一日早く死なせてください』と書いてください

い」

その短冊を見た母親は、自分にも書かせてほしいと申し出て、「もし神様がいらつしやるのなら、ぜいたくかもしれませんが、娘より一日長生きさせてください」としたため、Aさんの短冊の隣にそつと結んだのでした。

Aさんは、母親がいなくなつたら誰が自分の世話をしてくれるのか、いつも不安に感じていたのだと思います。その一方で、四六時中付きつきりで介護してくれる母親に、せめて一日だけでも、何もしない時間を過ごしてほしいと、ひそかに思っていたのではないのでしょうか。

母親も、自分が先に死んだら、ほかの人の世話にならざるを得ない娘を不憫あはれに思い、一日だけでも長く生かしてほしいと書いたのでしょうか。互いを思い合う母と子の姿に、胸が締めつけられる思いがしました。

私は、このエピソードを、単に「母と子の切なくも心を打つ話」で終わらせていいのだろうかと考え込んでしまいました。

月日のやしろにお定まりになる前のことですが、教祖は、物乞いに来た女性に温かい粥かゆと衣類をお与えになり、子供にはご自分の乳房を含ませられました。また、預かり子が黒疱疹くろほうそうにかかったときも、神社仏閣を回って治癒ちゆを願ひ、懸命なおたすけをされました。月日のやしろに定まられてからは、寄り来る人々を、わが子として慈あはれしまれました。

私たちようぼくは、教祖の道具衆です。頼れる身内がない人や、将来を悲観して思い悩んでいる人に、「あの人なら、なんとかしてくるかもしれない」と思ってもらえる存在にならねばと思うのです。

実の親や身内の代わりは簡単につとまるものではありません。けれども、「教祖なら、どうなさるだろうか」との思いを胸に日々を通る。そのなかに、ようぼくとしての道が見えてくるものと信じます。



# みんなの教理勉強

## だめの教えって素晴らしい

飯田照明

だめ（究極）の教えの何と  
ありがたいことか！

ありがたいことに、真柱の理を  
定められた

キリスト教は、イエスをキリスト  
(救世主)と信じる教えであるが、そ  
のイエス・キリストの教えを正しく伝  
え信仰者を導くのは誰なのか。

カトリックの教会では、教皇（法王）  
が地上における神の代理人であるとす  
る。しかし、同じキリスト教でありな  
がら、東方正教会（ギリシア正教）は  
それを認めない。プロテスタントの各  
派も、イギリス国教会も認めない。

各派がそれぞれ、イエス・キリスト  
の教えを正しく伝え導いていると主張  
しているが、キリスト教信者にとって  
は、どれを選べばよいか迷うことであ

ろう。

仏教も、何千何万とある宗派のどれ  
が、釈迦の教えを正しく伝え導いてく  
れるかわからない。それぞれが、我こ  
そ釈迦の真説を受け継ぐ宗派だと主張  
する。

釈迦の教えが伝えられているという  
お経も何千種もあり、どれがいったい  
本当の釈迦の教えを伝える経典なのか  
わからない。仏教者の中には、どれも  
これもみな釈迦の教えであると言う人  
もいる。

教祖は、お道の信仰の芯となり、教  
えを正しく導く立場として真柱という  
尊い理を定められた。そのおかげで、  
お道の信仰者は真柱様のお導きにより、  
教祖のみ教えに基づく正しい信仰をさ  
せていただけるのである。

繰り返しですが、キリスト教徒は、カト  
リックの教皇がギリシア正教の大司教  
か、プロテスタントの牧師か、誰がイ  
エス・キリストの教えを正しく伝え信  
仰を導いてくれるか、戸惑い悩まねば  
ならない。

仏教徒も同じことである。大乘仏教  
か上座部仏教か、密教か、  
弘法大師空海か道元禅師か、親鸞聖人  
か日蓮聖人か、どれも本当の釈迦の教  
えを伝え、導いてくれるのかわからず、  
迷わなければならぬ。

イスラームの場合もスンニー、ワッ  
ハブ、シーアなど数多くの分派があ  
り、それぞれが正統性を主張している。

お道はその点、ありがたい。教祖が  
定められ、ご存命の教祖に代わって、  
目となり耳となり、口となってお導き  
くださる真柱様がおられる。そのおか  
げで親神さま、教祖のみ教えに基づく  
正しい信仰をさせていただけるのであ  
る。

## 本年1回目

鹿深の家ひのきしんを開催



次回 7月4日



## こどもおぢばがえり 少年ひのきしん隊員・カウンセラー 募集要項

- 主 旨
    - ・陽気ぐらしを実践する道の後継者を育成する。
    - ・ひのきしんを通して、おぢばに伏せ込む事の喜びを体感する。
    - ・今後の少年ひのきしん隊活動や教会の少年会活動の中核となれるよう錬成する。
  - 対象者
    - ・少年ひのきしん隊 中学生、小学生（4年生以上）
    - ・カウンセラー（高校生以上のよふぼく）
    - ・サブカウンセラー」（高校生以上）
  - 期 間
    - ◎少年ひのきしん隊  
8月1日（15時30分集合）～8月5日（16時 解散予定）
    - ◎カウンセラー、サブカウンセラー  
7月31日（17時集合）～8月5日（16時 解散予定）
  - 内 容
    - ・ひのきしん・お楽しみ行事・慰労会（ナガシマスパーランド）
  - 費 用
    - ・宿舎費及び食費は本部より支給
  - 集合場所
    - ・第九母屋 ○解散場所 ・甲賀大教会 16時予定
    - ・東1駐車場 17時半予定
  - 申込み
    - 7月20日までに、江南支部少年会育成委員長 九里正昭（大原郷分教会 ☎0748-88-4482）へ
- ※ 準備、その他ひのきしん者募集中（詳しくは支部迄お尋ね下さい）

---

---